いずっぱこの今昔

地元の人に聞く いずっぱこの思い出

昭和30年代にこの地で商売を始めました。昭和の終わり頃までは駅前にも小売店がたくさんあり、にぎわっていました。平成に入って大型店舗が増えた影響などで次第に数が減り、駅周辺は少し寂しくなりました。

それでも多くの人が通勤や通学で伊豆仁田駅を使い、人の流れは昔も今も変わらず続いています。私も高校への通学や三島・修善寺方面に出かける際に利用し、多くの思い出を作りました。

秋山米店
店主　秋山和義さん

2020年の東京オリンピックに向けて海外から訪れる人の利用も増えてくると思います。地域の人だけでなく、旅行者にとっても思い出に残るような「いずっぱこ」になるよう期待しています。

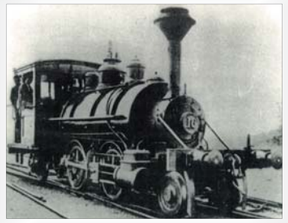
電車

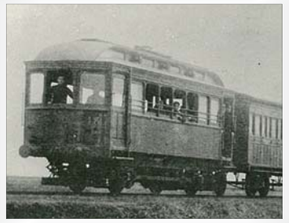
開業当時は、蒸気機関車で運行していました。また、三島市から沼津市を結ぶ軌道線（路面電車）も運行していました。

平成 30 年（2018）

平成 30 年（2018）

平成 30 年（2018）


明治 31 年（1898）


大正 7 年（1918）

昭和 38 年（1963）

三島駅

旧三島駅は、明治31年（1898）開業。現三島駅になったのは、昭和９年（1934）のことです。

伊豆の玄関口の１つとして、昭和８年（1933）からは、東京から直通列車が乗り入れられています。

平成 30 年（2018）

昭和 2 ～ 3 年（1927 ～ 1928）

伊豆仁田駅

大正 11 年（1922）開業。田方農業高等学校の生徒をはじめとする通学や通勤の利用者が多く見られます。

平成 30 年（2018）

昭和 45 ～ 55 年（1970 ～ 1980）

大仁駅

明治 32 年（1899）開業。大正２年（1913）当時は、修善寺・天城湯ケ島方面に向かって馬車に乗り継ぐ拠点として機能していました。

平成 30 年（2018）

大正 2 年（1913）頃

修善寺駅

大正 13 年（1924）開業。修善寺や天城湯ケ島、西伊豆へのバス、タクシーの乗り換えターミナルとして機能しています。平成 26 年（2014）に現在の駅舎となりました。

平成 30 年（2018）

昭和 58 年（1983）